

跡見学園女子大学 学報



跡見学園女子大学は、地域貢献活動の一環として昨年9月、文京区との間に「災害時における妊産婦・乳児支援に関する協定」を締結致しました。このような取り組みを大学と地域で行う事は全国初の取組です。女子を預かる学校として本学の出来ることは何かを考え、「学生の安全・安心」を第一に考え、災害時の弱者を救済するという本学の考えと、文京区の考えが一致したものです。緊急時に他者のためにも行動できる、思いやりのある女性を育成したいという思いも込められています。協定締結から1年が経過し、今回本学学生を中心に、文京区、東京都助産師会の協力のもと訓練を行いました。この計画は、本学の学生が企画し、学内ボランティア学生も参加しました。実際には起きて欲しくない災害ですが、訓練を通して思いやりのある女性教育の実現を目指します。

記事内容

○跡見花蹊記念奨学生・跡見校友会一紫会大学院奨学生表彰	(2)
○夏期海外語学研修終了報告	(3)
○2013年度紫祭開催 ○学生会情報	(4)
○CLUB NOW ○イノシシ・鹿「皮かわいく活用」 ○リメイクファッションショー	(5)
○ゼミ紹介 ○ATOMIインターンシップ実施報告 ○アカデミックインターンシップ実施報告	(6)
○「ATOMI就活サポーターズ」についてのご紹介 ○Career CAFE	(7)
○平成25年度新規採択「科学研究費補助金にかかる研究内容の概要」	
○『学術研究振興資金にかかる研究内容の概要』	(8)
○異文化交流フォーラム ○第4回図書館主催講演会について	
○第4回百人一首・跡見花蹊新収資料展について ○図書館ボランティアについて	(10)
○平成26年度 大学・大学院 全入試日程	(11)
○行事予定 ○本学の節電の取組み ○花蹊の筆墨(40) ○編集後記	(12)

夏 期 海 外 語 学 研 修 総 括

全学共通科目運営センター長
石 田 信 一

今年度の夏期海外語学研修は、英国・国立スターリング大学(H25.8/4～9/4)で行われ、大過なく終了した。中国・北京語言大学での研修は、大気汚染・日中情勢等の状況により、今年度の実施は残念ながら取り止めとなった。

国立スターリング大学での研修は今年で5年目を迎えた。教育の質の高さや充実したアクティビティにより、年々参加者が増加し、過去最高となる51名の学生が参加した。研修プログラムには、習熟度別クラスによるきめ細かな英語授業・指導だけでなく、ロンドン滞在を含む歴史遺産散策等のアクティビティが組まれている。この研修を通して、学生は文化の違いによる多くの驚きや、言葉が通じない悔しさを肌で実感したことであろう。これらの経験が今後の語学学習の意欲を高め、視野を広げるきっかけとなることを確信している。

夏期海外語学研修を終えて

マネジメント学部マネジメント学科 2年 濱崎実香

今回この研修に参加して、本当に充実した毎日を過ごすことができました。授業では最初全く日本語の通じないところで自分の言いたいことが伝わるか、先生の言っていることをちゃんと理解できるか、など不安に思うこともありましたが、先生たちは必死に理解しようとしてくれたり、わかりやすく説明してくれたりして不安になることは一つもありませんでした。自分の言いたいことが思うように言えなくて悔しい思いもたくさんしましたが、苦労しながらも伝わった時は本当に嬉しくて一つ一つが自信に繋がっていきました。そして、悔しい思いをしたからこそもっと必死に勉強しなくてはいけないという思いが一層強くなりました。

週末にはいろいろなところに観光をし、たくさんの思い出も作って、綺麗なイギリスの景色に感動しました。1カ月という短い期間ではありましたが、自分に何が足りないのかを知ることができ、今後の目標ができました。



～海外大学との協定締結～

本年8月、海外3大学と友好協定ならびに学術交流協定を締結いたしました。

一つ目は、英国国立スターリング大学との友好協定です。同大学は留学生を対象とした語学教育に定評があり、本学からも夏期海外語学研修として学生派遣を行っています。また交流を開始して5年間のうち本学卒業後、同大学大学院への進学者は過去3名、学部への1年間留学者は2名おり、このことから教育の質の高さ、面倒見の良さが伺えます。今後は、単位認定を見据えた中・長期派遣留学や、学術研究分野での交流計画を進めてまいります。

二つ目は、台湾にある国立高雄餐旅大学との友好協定です。同大学はホスピタリティ業界において活躍できる人材育成を目標とした実学主義の大学です。大学内にホテル・調理室・航空カウンターなどの充実した実習施設を備えており、体験型の学生交流等が期待できます。

三つ目は、キルギス共和国にある国立ピシケク人文大学との学術交流協定です。同大学は、言語学分野に名高い大学で、海外大学間との国際交流活動も盛んです。主に東洋研究・国際関係学部への文献提供や、研究者交流を中心とした学術交流が期待できます。

また、カナダにあるロイヤルローズ大学とも協定締結に向けた調整を進めており、学生派遣を中心とした交流計画を検討中です。

今後、これらの大学間協定に基づき具体的な相互交流の実現に向けて、更なる連携強化を図ってまいります。



国立スターリング大学(英国)との基本合意書調印式

(前列)スターリング大学学長 Professor Gerry McCormac (左)と本学の内山康和事務局長(右)



国立高雄餐旅大学(台湾)との友好協定書調印式

(前列)本学の太塚博副学長(左)と国立高雄餐旅大学の容継業学長(右)

46th YUKARI FESTIVAL Colorful

2013.11.2(sat).11.3(sun) At Niiza campus

ごきげんよう。紫祭実行委員会です。

今年のテーマは「colorful」。

私たち一人ひとりが持っているとりどりの「色」。

それが混ざり合い一人では出すことの出来ない特別な色、紫祭が、あせることなく私たちの思い出にいつまでも残るよう、願いを込めてのテーマです。今年も紫祭実行委員のメンバーは約100名となり、大変賑わいをみせております。

実行委員一同力を合わせ精一杯頑張りますので、

皆様お誘い合わせのうえ、ご来場ください。



参加団体企画一覧

飲食販売		展示・発表	
ATM クッキングスタジオ	山下ゼミ	UltraBookProject	写真部
コープガールズ	山澤ゼミ3年	エコキャンパス研究会	書道部
チョコレート愛好会	紫祭実行委員会	お絵かき同好会	青空ライブ愛好会 One ☆ギター
バスケットボール部	芝原ゼミ2年	サイコロ倶楽部	跡見ウィンドオーケストラ
バドミントン部	芝原ゼミ3年	ダンス部 A ☆ fig	跡見ニューリズム研究会
バレーボール部	芝原ゼミ4年	ディズニー研究会	体育会チアリーディング部
ボランティアサークルさくら	心理学検定部	ルネサンスクラブ	田中ゼミ3年
マンドリンクラブ	村上ゼミ2年	演劇部	田中ゼミ4年
ロリーポップ	村上ゼミ3年	華道部	美術部
学生会本部	村上ゼミ4年	競技ダンス部	文学研究部
宮崎ゼミ	茶道部	軽音楽部	放送文化研究部
許ゼミ	軟式野球部	広告研究部	漫画研究部
紅茶クラブ	有限会社ハイカラ	合唱団	冷やし中華出遅れました
佐藤ゼミ		焼き物研究部	

*企画内容は変更する場合がございます。ご了承ください。

学生会情報

学生会本部 会長

ごきげんよう。いよいよ秋学期が始まりました。今回は6月19日に開催されました学生総会及び学長と語る会についてご報告致します。

学生総会では、平成24年度決算報告、平成25年度予算案及び新規設立団体等の審議を行い、すべて無事承認されました。学長と語る会では、学長、副学長、学務部長、事務局長にご出席頂き、事前に寄せられた、抽選科目の抽選方法について、語学授業のクラス分けについて、実習期間の公欠日数の見直し等の要望に丁寧なご回答を頂きました。そして、私たちの要望から早速文京キャンパス2号館1階のプラズマ画面にデジタル時計を設置して頂きました。また、文京キャンパス2号館の階段にすべて手すりが付くことにもなりました。ご出席頂いた



先生方、学生の皆さんご協力ありがとうございました。出席できなかった皆さんは是非議事録をご覧ください。来年度以降もより良い会が開催出来るよう努力していきたいと思っております。

そして最後にご案内を一つ。11月2・3日は紫祭です。学生会本部と紫祭実行委員会が共催する後夜祭では花火も打ち上げられます。ぜひお越しください。

CLUB Now

エコキャンパス研究会

こんにちは。エコキャンパス研究会です。
今年の6月1日、2日にNHKエコパークにブースを出しました。ブースでは、ご家族で来場したお子様に「ペットボトルのキャップを集めてリサイクルすると開発途上国に送ることができるものはどれ?」「次のうち牛乳パックから作れないものはどれ?」などのクイズに答えていただき、楽しみながら環境を学んで頂きました。今年も私たちエコキャンパス研究会はロードサポート(歩道清掃活動)、ペットボトルキャップの回収(ワクチン購入支援)、地元新座市と文京区の小学生に不要な紙や牛乳パックを使用した再生紙を作る授業の実施など、身近にできるエコ活動から地域そして地球への環境配慮へと発展させるべく頑張ります!



書道部「ゆかり展」

ごきげんよう。書道部です。

書道部からは「ゆかり展」のご報告を致します。

今年の「ゆかり展」は8月9日～14日、4月にオープンしたばかりの跡見ギャラリーで開催致しました。東京学生書道連盟の方、近隣の方、書道部OG…本当にたくさんの方がご来場くださいました。作品数は、全体合作、学年合作、有志合作を含めた26点。そして、今年も顧問の横田恭三先生が賛助作品を出品してくださいました。例年通り、臨書が多く創作は少なかったのですが、ご来場頂いた方からは、「書体のバリエーションが豊富で見応えがあった」とお褒めの言葉を頂きました。跡見ギャラリーでの開催は、大変好評で、「来年もこちらで…」というご来場の皆様からの声もありました。ご縁があればまた使わせて頂きたいです。今、私たちは「紫祭」に向け、さらにパワーアップした書道部をお目にかけるよう練習に励んでいます。是非、ご来場ください。



イノシシ・鹿「皮かわいく活用」

MTG チーム産地への提案

本学マネジメント学部の許伸江ゼミのMTG(マタギ)チームでは、鳥獣害対策の活動を行う「MATAGIプロジェクト実行委員会(革のまちすみだ会事務局)」のメンバーとして活動しています。

全国で農作物等の被害が問題となっているイノシシ・鹿の「皮」が今まで捨てられていたことに着目し、製品の素材として使える「革」として製品化することで、地域産業の活性化につなげようという活動です。

許ゼミのMTGチームは昨年、革のなめし工場を見学。その後、本学の学生約300人にアンケートを実施。女子大生目線で、イノシシや鹿の革を使った商品に対する意識について調査結果をまとめ、商品提案も行いました。また、実行委員会主催の全国大会のサポートや、MATAGI-NEWSも毎月発行を担当しています。

地域や社会とつながる貴重な機会を大切に、今後も活動を続けていきます。



リメイクファッションショー(跡見ガールズコレクション2013)

生活環境マネジメント学科准教授 内村理奈

内村ゼミ(2年生)によるリメイクファッションショー(跡見ガールズコレクション)は、今年で3回目を迎えました。学生たちの家庭にある不要な衣類や布類を基に、デザインを考え、リメイクで衣装制作し、学生たち自らがモデルになってショーを行うというものです。

今年は7月28日のオープンキャンパスにて、私の模擬授業の中で実施し、多くの来場者を得て好評をいただきました。メディア各社の取材も受け、翌日のNHKニュース「おはよう日本」で放送されたほか、新聞5紙(朝日、読売、毎日、東京、埼玉)によって報道されました。

ファッションを通して環境問題を考え、学生たちが自分たちの力で、その意義を目に見える形で発信するファッションショーに、手ごたえを感じているところです。



ゼミ紹介

人文学演習I(英米文学)

文学部人文学科 准教授 香山 はるの

19世紀のイギリス小説を研究するゼミを担当しています。今年はブロンテ姉妹に焦点を当て、春学期にはシャーロット・ブロンテの『ジェーン・エア』(1847年)を取り上げました。160年以上も前に書かれた小説ですが、ヒロインの生き方(特に恋愛や結婚!)に関心を持つ学生は少なくありません。

このゼミでは英語で物語を読み進めると同時に、グループごとのディスカッションや発表に力を入れています。たとえば、学生は4つのグループに分かれ、ブロンテ姉妹や彼女たちが生きた時代について調べたり、小説の重要なテーマについてディスカッションをしてその内容を発表します。こうしたグループ学習を通して学生間の親睦が深まり、4月初めには静かだったゼミにも、夏前には活発な発言や笑い声が聞こえるようになってきます。学生が自分の考えを論理的に説明する力を養うこと、様々な見方を知り視野を広げること、加えて英語の読解力を身に付けることを期待しています。

種田ゼミ

マネジメント学部観光マネジメント学科 教授 種田 明

種田ゼミは「地道・自主性・熟成」の3つの「J」を基本理念としています。最初のJの地道は、観光を中心とする「マーケティングの勉強(のみ)」を繰り返して積み上げて行くこと。次のJ自主性は、担当教員は学内外の活動の情報提供・アドバイスをするだけで、学生が興味を持ち自主的にやり始めるまで見守ること。第3のJの熟成は、「3年・4年(2年間)で卒論・卒研完成」をめざし、@最少3回の中間報告を義務付けていることです。

昨年からようやく動き始め、「ゼミ打ち上げ餃子・炒飯の会」(昨年7月:写真)、山形県飯豊町主催(JTB コーポレートセールス(旧法人東京)運営協力)「冬の里山暮らし楽校 in 飯豊2013」に参加(2月)、「3・4年合同ゼミ懇親会(教員抜き!)」(5月)実施などをやりました。4年生は「たまり場」をつくり、就活・バイト・試験対策他情報交換交流が盛んですが、そこに3年生も加え“サブゼミ”へと進化することを、私は密かに期待しています。



「ゼミ打ち上げ餃子・炒飯の会」
2012.07.27. 副ゼミ長・黒田愛撮影

「ATOMIインターンシップ」実施報告

「自分を変えたい」「今の自分に何が足りないのかを見つけない」——。そんな数々の思いを胸に志願した27名が、8月～9月の夏季休業期間を利用して、計16企業・2自治体へのインターンシップに臨みました。

就職課が主催するこの「ATOMIインターンシップ」は、学部を問わず、おもに3年生を対象に幅広く募集する形式で、平成10年より実施されています。授業の一環ではないため単位認定はされませんが、本学学生を受け入れてくださる前提でのプログラムであるため、企業等が広く一般学生を募集する「公募型」を補完する位置付けとしても活用されています。

実習先の業種も実にさまざま、営業実習や事務作業などの実務面以外にも、その業界の成り立ちや仕組み、独自ノウハウといった部分まで体験でき、みな多くの刺激を受け実習を終えました。今後も就職課は、納得できる就職をするために、職業観を育成する支援の一つとして、この「ATOMIインターンシップ」を運営してまいります。



「アカデミックインターンシップ」実施報告

マネジメント学部ではアカデミックインターンシップを夏休みに行っている。マネジメント学部の就職率は全国的にみても高いが、その理由の一つにインターンシップがあることは間違いない。今年も2年生が全員、最低2週間の就業体験を行った。マネジメント学科では、一般企業、官庁など、観光マネジメント学科では、ホテルやブライダル関連業種など、生活環境では食品や被服系企業などにインターンシップ先がある。合計すると170社にのぼり、毎年学生が来るのを楽しみにしているインターンシップ先も多い。

学生は、春学期インターンシップに的を絞ったマナー講座を受けた。7月20日には文京キャンパスで学部主催の「インターンシップ壮行会」が開催され、溝畑宏客員教授から激励の言葉をもらった。

インターンシップはアルバイトとは違って、働くことの意味を教えてくれる。これから働いていく社会は、怖いものではないが、侮り過ぎてもいけないことがわかるだけでも意義は大きい。

「ATOMI 就活サポーターズ」についてのご紹介

「ATOMI 就活サポーターズ」は、これから就職活動を始める学生（特に3年生）が、就職活動に対する疑問や不安を気軽に相談できる場所の提供を目的として、昨年秋に発足しました。内定獲得した4年生と交流を図ることで、不安を緩和させ、就職活動をスムーズに行えるよう情報提供・アドバイス・企画提案等を行っています。

初年度のサポーターズは7名で活動しました。今年度は、すでに50名を超える登録者を得、9月下旬から本格始動をしています。主としてお昼休み（12：15～12：55）を中心として定期的（火・木・金）に相談を担当します。場所は、文京キャンパス2号館2F就職課前ミーティングコーナーです。

昨年度のサポーターからは、「漠然とした不安感を自分の体験を伝えることで解消させ、元気になってもらえ

ました」との報告がありました。4年生のサポーターは、3年生にとっては、最も身近で説得力と影響力のある頼もしい存在です。就職活動についての疑問や不安のある学生は、ぜひ相談をお勧めします。定期的な相談の他、就職活動準備講座や報告会等交流の機会も多く設定しています。

「ATOMI 就活サポーターズ」では、在学生同士のつながりを大切にするとともに、卒業後もOGとして本学に関わり、OG懇談会や講演等にご協力頂けるよう、内定者に登録の協力依頼を続けています。また、卒業生の皆さんでOG懇談会等、後輩へのサポートにご協力頂ける方は、就職課までご連絡をお願いいたします。



●キャリアセミナー（7月）
パネリストとして就職活動のポイント等を、
各々の体験を通して語ります。



●就職活動準備講座（9月）
これから就職活動を始める3年生の
第一歩としての相談コーナーです。



●OG懇談会（11月）
業種別にOGを招いての懇談会。
実際の仕事をイメージできます。

4年生の就活サポート広場 Career CAFE

ようやく涼しさを感じるようになった今日この頃ですが、就職活動を続ける4年生にとってはラストスパートともいえる暑い後半戦が始まっています。よく世間では夏までに採用活動は終わってしまうかのように誤解されがちですが、決してそのようなことはありません。

10月～3月の間でも約1000件の求人が本学には届いています（昨年度実績）。私達就職課は後半戦になっても、いえむしろ後半戦だからこそより積極的に支援をしていきます。その一つが、Career CAFEの開設です。昨年度はこのCareer CAFEを利用した141名の内、71%が進路を決定して行きました。就職課、そしてCareer CAFEを是非活用してください。

【Career CAFE】

就職活動を継続している4年生に対して、定期的に専用の就職相談場所（就職課とは別の場所）を提供し、「来やすい・相談しやすい。そして、会社を探しやすい」をコンセプトに気軽且つ、採用に結びつく相談窓口。

2013年12月2日(月) 開設予定

【支援内容】

- ・求人個別提供
- ・履歴書の添削
- ・面接練習
- ・企業との直接マッチングイベントの開催



平成25年度新規採択「科学研究費補助金にかかる研究内容の概要」

研究課題名「気分障害患者の家族を対象としたテラーメイド型支援プログラムの開発に関する研究」

文学部臨床心理学科 准教授 酒井 佳永

気分障害患者は年々増加している。また気分障害の治療は薬物療法と休養に重点がおかれてきたが、近年、薬物療法と休養により症状が軽減しても、その後の社会復帰過程において再発を繰り返し再適応が困難となる事例が少なくないことが報告されている。こうした状況は社会経済的な損失、自殺防止の観点からも重要であり、気分障害患者の社会復帰促進、再発防止に関わる対策が必要である。

気分障害患者の社会復帰および再発防止には、家族関係が及ぼす影響が大きい。統合失調症の再発予測因子として知られる家族からの否定的な感情表出(Expressed Emotion)は気分障害患者においても再発の危険因子であり、また患者の社会復帰後の不良な予後の予測因子として「家族からの協力が得られないこと」がある。よって家族が患者を安定して支えられるよう、医療機関をはじ

めとする専門家が家族を支援することは、気分障害患者の社会復帰支援において重要な役割をもつ。

しかし医療機関における気分障害患者の家族への支援は、統合失調症患者や認知症患者の家族への支援と比較してみても数少ないという現状がある。その背景には、発症時期、経過、重症度などが多様な気分障害患者の家族は、支援に対するニーズも一様ではないことがあげられる。

そこで本研究では、復職援助プログラムに参加する患者の配偶者、双極性障害患者の家族など、ある程度共通した経過や支援ニーズを持つと思われる家族集団を対象とした集団プログラムを開発し実施することを目的とする。またプログラム参加前後の参加者の変化や参加者の満足度に関する調査を通じて、プログラムの評価を行い、プログラムを改善する。

研究課題名「意味排除主義に基づく固有名と単称性に関する研究」

文学部人文学科 助教 酒井 智宏

人間の言語に固有名詞(固有名)と普通名詞(一般名)の区別があるのはなぜでしょうか。すぐに思いつく答えは、すべてのものに名前(「タマ」、「ミケ」、「シロ」、etc.)をつけていたのでは名前を覚えきれないので、複数のものをまとめて一般名(「猫」)で呼ぶようになった、というものでしょう。つまり、人間は、自らの記憶力の限界を補うために、一般化・抽象化能力を発揮して一般名を生み出した、というわけです。この考え方によると、固有名よりも一般名のほうが、一般化・抽象化能力を要求するぶん、高次の言語表現であることになります。実際、『人間不平等起源論』において人間の自然状態から言語が発生する過程を描き出そうとしたルソーも、最初

に生まれた名詞が固有名であることを疑いませんでした。しかし、ルソーは同じ本の中で、未開人は個体認識をせず、自分の子どもの顔さえ覚えなとも述べています。よく分からなくなってきました。個体認識をしない者がどうして固有名をもつことができるのでしょうか。個体認識をしない未開人にとって、世界とはむしろ「敵」「味方」「毒」「食べ物」「猫」といった一般観念のみから成り立つものにちがいません。では、未開人が「タマ」「ミケ」「シロ」といった固有名を手に入れるためには何が必要でしょうか。逆に、すでにそれらを手に入れているわれわれ人間とは何者なのでしょう。本研究ではこの問いに答えたいと思います。

研究課題名「東日本大震災後の地域景気動向の把握—月次の都道府県別GDPの推計」

マネジメント学部マネジメント学科教授 山澤 成康

本研究は、基盤研究(B)で平成25年度から平成27年度までの3年間交付を受けるものである。

東日本大震災後、地域ごとに景気を把握する必要性が高まっている。被災三県では震災からの復興状況を迅速に把握することが重要だ。一方、自動車産業が集中している愛知県では為替レートが景気に与える影響が大きい。国の景気動向指数では、地域ごとの景況感の違いがとらえきれない。そこで本研究は、「都道府県別GDP」を月次で作成することを試みる。

国全体の月次GDPは、筆者が日本経済研究センター在籍中に開発し、特許公開した。都道府県別の月次GDPに近いものとして、内閣府が公表している「地域別支出総合指数(RDEI)」がある。筆者はRDEIの試算、

公表時に検討委員会の委員となった。RDEIは都道府県別に民間最終消費、民間住宅投資、民間設備投資、公的固定資本形成を月次で計算したものである。これに、政府最終消費と輸出入、移出入を推計することで、都道府県別月次GDPを作成することができる。

このため、まず政府最終消費支出や移出入を月次で試算することが第一段階である。次に、景気動向を把握するため、潜在GDPと現実のGDPの差であるGDPギャップを計算する。GDPギャップの算出には複数のアプローチがあり、どれが適切かを判断して計算する必要がある。分析結果は、ホームページで公表するほか、国際的な学会で発表する予定である。

研究課題名「医療用医薬品流通の経済分析」

マネジメント学部マネジメント学科 准教授 丹野 忠晋

「医療用医薬品流通の経済分析」(基盤研究C)と題する本研究は、我々の健康にとって欠くべからざる医療用医薬品の流通構造を研究する。研究期間は、平成25年度から平成27年度である。研究代表者の丹野の他に林行成准教授(広島国際大学)、山田玲良教授(札幌大学)、櫻井秀彦教授(北海道薬科大学)が研究分担者として、平井貴幸研究員(東京国際大学)が研究協力者としてこの研究に従事する。

近年の医療費の増大による財政問題から薬価の引き下げに焦点が集まってきた。その改定の根拠となる医療用医薬品の流通段階での価格形成やその取引慣行の実態は十分に明らかにされていない。また不公正な取引が医療用医薬品の流通において存在していると言われている。本研究はそのような流通段階での価格決定と取引慣行の

現状を経済学的に分析する。

医薬品メーカーは、強い地位を活かして医薬品卸に対して高い仕切価格で医薬品を販売しているのが常態である。卸の販売実績に応じてリベートやアローアンスという販売奨励金がメーカーから卸に事後的に支払われている。医薬品卸と医療機関との価格交渉においては、卸が販売する納入価格が未決定でも仮納入が行われている。その納入価格の決定が年度末までなかなか妥結されない事態(未妥結)が毎年生じている。

我々は、このような流通実態において市場メカニズムが有効に働くために医療用医薬品の流通やその供給体制の規制はどうあるべきかという視点に立って研究を進めていく。更に経済学的知見に基づいた流通改善への提言や薬事行政の評価を行う。

研究課題名「サプライチェーンを通じた環境負荷削減行動に関する実証分析」

マネジメント学部 生活環境マネジメント学科 助教 井口 衡

近年、企業の社会的責任を果たすための活動の一環としてグリーン・サプライチェーン・マネジメント(Green Supply Chain Management: G S C M)と呼ばれるサプライチェーン全体を通じた環境負荷の削減行動に大きな関心が集まるようになった。科学研究費助成事業「サプライチェーンを通じた環境負荷削減行動に関する実証分析」では、日本企業におけるG S C Mを促進する要因や、その取り組みが対象となる企業に与える効果について、定量的な分析を行う。特に、既存研究で指摘されてこなかった、ある企業がG S C Mを実践することから生じる影響が、直接的な取引先企業を超えて波及するかという点について検証することを目的としている。このような波及効果が存在するという事は、より川下の

企業のG S C Mの取組みを促進するような環境政策をとることで、より広範囲にその影響が波及することを意味する。そのため、本研究の分析結果は、環境規制対象業種の選定などにインプリケーションを与えることができる可能性がある。

また、科学研究費助成事業に加え、H24年度から環境省「第Ⅱ期 環境経済政策研究」採択課題の分担研究者として、サプライチェーンにおける温室効果ガス排出把握行動に焦点を当て調査を行っている。具体的には企業インタビューや文献調査をもとにモデルを構築し、企業調査から得られたデータやリサーチ会社から購入した企業属性データを用いて企業の自主的環境取り組みの分析をしている。

『学術研究振興資金にかかる研究内容の概要』

研究課題名「生物多様性に配慮したサプライチェーンマネジメント」

マネジメント学部生活環境マネジメント学科 教授 宮崎 正浩

企業活動は生物多様性に大きな影響を与えているため、社会的責任(C S R)としてその保全に取り組むことが求められており、特に原料調達において持続可能な管理から得られたものを調達するなどのサプライチェーンの管理が重要である。

本研究の目的は、原料採取から生産、流通、消費、廃棄に至るサプライチェーン全体において生物多様性リスクを評価し、適切に管理することによって、生物多様性への負荷を軽減する持続可能なサプライチェーンマネジメント(S S C M)の構築の可能性を明らかにすることである。

平成24年度は、紛争鉱物、アパレル、小売、食品、木材などの分野でのS S C Mの実証研究と、近年欧米で法規制が導入されたデュー・ディリジェンスについて研

究を行った。その結果、企業がS S C Mを構築するためには、以下のような課題があることが明らかとなった：①紛争鉱物についてはトレーサビリティの確保に努め、その目的であるコンゴ等の紛争の解決に貢献できる仕組みを構築すること、②小売業のS S C Mと売上高増加率とは正の相関関係にあることが明らかとなったが、さらに精度の高い実証的な研究が必要であること、③食品等の持続可能性の認証制度は開発途上国の小規模事業者を排除する可能性があるため小規模事業者の持続可能性を高める方策をS C Mの中で検討すべきであること、④デュー・ディリジェンスは、欧米での法規制の具体的な運用を注視しつつ、企業の実効性のある手法を研究する必要があること。

第13回異文化交流フォーラム

人文科学研究科長 小仲信孝

9月14日(土)、ワルシャワ大学のミコワイ・メラノヴィッチ教授をお招きして第13回「異文化交流フォーラム」を開催した。メラノヴィッチ教授は夏目漱石、芥川龍之介、川端康成、谷崎潤一郎、安部公房など多くの日本文学作品を翻訳・紹介してこられた日本文学研究者である。講演のテーマは「外からみた日本文学ー谷崎潤一郎を中心にー」。今回は公益財団法人文京アカデミーの後援をいただいたこともあって、文京区民の方々にも聴講していただくことにした。講演は若き日の日本留学時代の思い出話から、谷崎潤一郎・シェンキヴィッチの文学について、さらには現在、ポーランド、日本それぞれが抱える文学の危機をめぐる考察まで多岐にわたるもので、時間を忘れて興味深く拝聴した。



第4回 図書館主催講演会について

本学図書館が主催する図書館講演会は、これまで毎年1回開催してまいりました。

平成22年度、京都大学中村聡史先生に「iPadは大学教育を変えるか?」というテーマでご講演いただいたのをはじめ、先進的なラーニング commons の取り組みで全国的にも有名なお茶の水女子大学附属図書館江川和子図書・情報チームリーダーに「学習の場としての図書館」というテーマでお話しいただいたり、昨年度は、筑波大学の逸村裕先生に「なぜ大学の学習支援力が問われるのか?」と題してお話しいただきました。

図書館界で最新の話題で、本学図書館での取り組みに参考となる事柄をテーマとして設定してまいりました。

今年度は、本学新座図書館視聴覚ホールにおいて、6月12日(水)午後1時から約1時間半にわたり、本学教授の植松貞夫先生に「大学図書館の課題と可能性ー建築の視点を中心に」というテーマでご講演いただきました。

コンピューターと本とが同時に参考のできるハイブリッドな環境が重要である、ラーニング commons の運用には教育の役割が重要である、など示唆に富んだお話を伺えました。当日は、お茶の水女子大学附属図書館から2名の方の参加がございました。



第4回 百人一首・跡見花蹊新収資料展について

本学図書館で収集している特別資料を、半期に一度新座図書館展示室で展示する「百人一首・跡見花蹊新収資料展」も今回で4回目となります。平成25年5月7日(火)から31日(金)まで花蹊関係は「かざんえんじゆすい夏山烟樹図」ほか約11点、百人一首は、「小倉百人目附種」ほか約12点を展示しました。

また、今回は、所蔵百人一首から「百人一首師説抄」を6点参考展示しました。



図書館ボランティアについて

大学図書館の多くで図書館ボランティアの活動の輪が広がっています。

本学図書館でも、本年度5月末締め切りで図書館ボランティアを募集したところ、30名を越す希望者がありました。現在まで、約2ヶ月の期間が経過しますが、希望者のほとんどが日常活動に参加してくれています。

7月1日(月)から5日(金)までは「本に願いを! ~七夕イベント」と称して、短冊に願い事を書いてもらい、図書館の本をボランティアがポップに書いて紹介するイベントがありました。

まだまだ未熟なところが多く、企画なども手探りですが、図書館のことに関わりたいという思いが強く感じられます。



平成26年度 大学・大学院 全入試日程

【大 学】全学部全学科共通（詳細は平成26年度入学試験要項で確認してください。）

入試方式	出願期間		試験日※2	試験科目・選抜方法	合格発表日
	郵送(必着)				
	窓口※1				
公募推薦	25年11月1日(金)～11月7日(木) 〔郵送のみ〕		25年11月10日(日)	面接	25年11月14日(木)
帰国生・社会人	25年10月28日(月)～11月7日(木) 〔郵送のみ〕				
一般A方式	A1方式	26年1月9日(木)～1月23日(木)	26年2月1日(土)/2月2日(日) 複数日程自由選択※3	国語、英語、地歴・公民、数学 から2教科にわたり2科目	26年2月5日(水)
		1月24日(金) 10:00～16:00			
	A2方式	26年1月27日(月)～2月17日(月)	26年2月21日(金)		
A3方式	26年2月17日(月)～2月26日(水)				
一般B方式	B1方式	26年1月9日(木)～2月10日(月)	大学入試センター試験 〔26年1月18日(土)/ 1月19日(日)〕	2教科2科目を選択	26年2月15日(土)
	B2方式	26年2月28日(金)～3月10日(月)		3教科3科目を選択	26年3月14日(金)
※4 一般AO入試	11月期	25年10月28日(月)～11月6日(水)	出願後、面談・試験は ありません	面談 課題レポート	25年11月14日(木)
	12月期	25年12月2日(月)～12月10日(火)			
論文AO入試	25年12月2日(月)～12月10日(火)		25年12月15日(日)	論文	25年12月19日(木)
	12月11日(水) 10:00～16:00				
※5 編入入学 学	前期試験	25年10月28日(月)～11月5日(火) 〔郵送のみ〕	25年11月10日(日)	筆記試験(小論文) 口述試験	25年11月14日(木)
	後期試験	26年1月27日(月)～2月5日(水) 〔郵送のみ〕	26年2月11日(火・祝)		26年2月15日(土)

＜備考＞

- ※1 窓口出願場所は文京キャンパス、新座キャンパスです。
- ※2 試験会場は、以下のA方式を除き、新座キャンパスです。
〔A1方式〕
・2月1日(土) 文京キャンパス/新座キャンパス/学外会場(仙台・新潟・宇都宮・高崎・柏・千葉)
・2月2日(日) 文京キャンパス/新座キャンパス
〔A2、A3方式〕文京キャンパス
- ※3 2日間にわたり受験する場合は、同一学科あるいは他学科の受験可能です。
- ※4 面談・課題レポート(2テーマ)を完了した方のみ出願できます。
面談予約期間: 9月10日(火)～11月11日(月)、面談日: 11月16日(土)(12月期の出願が可能です。)
- ※5 文学部臨床心理学科については、編入学・学入試験とも実施しません。

【大学院】全研究科全専攻共通

入試方式	出願期間		試験日※2	試験科目・選抜方法	合格発表日
	郵送(必着)				
	窓口※6				
一般・社会人 〔後期試験〕	26年1月27日(月)～2月5日(水)		26年2月11日(火・祝)	下記参照※7	26年2月15日(土)
	2月6日(木) 10:00～16:00				

＜備考＞

- ※6 窓口出願場所は文京キャンパスと新座キャンパスです。
- ※7 試験内容は下記のとおりです。
〔一般入試〕 臨床心理学専攻 筆記試験(専門、外国語<英語>)、口述試験
日本文化専攻 マネジメント専攻 筆記試験(専門、外国語<英語または日本語>)、口述試験
※外国語<日本語>は、外国人留学生のみ受験可能。
※外国人留学生は、外国語<日本語>を必須とする。
※外国語<英語>の試験での英和辞書の参照を可とする。英和辞書は貸与する。
〔社会人入試〕 臨床心理学専攻 筆記試験(小論文、外国語<英語>)、口述試験
日本文化専攻 マネジメント専攻 筆記試験(小論文)、口述試験

・日本文化専攻・マネジメント専攻においては、AO入試も実施しています。ご希望の方は入試課(048-478-3338)までお問い合わせください。

◆◆◆ 行事予定 ◆◆◆

10月	1日(火)	秋学期通常授業開始
	1日(火)~4日(金)	秋学期1次履修登録申請期間
	8日(火)~9日(水)	秋学期2次履修登録申請期間
	12日(土)、14日(月)	履修登録訂正期間
	14日(月)	通常授業実施日
11月	1日(金)	紫祭準備日
	2日(土)~3日(日)	紫祭
	4日(月)	紫祭片付日
12月	23日(土)	通常授業実施日
	23日(月)	通常授業実施日
1月	30日(月)~1月8日(水)	冬季休業
	8日(水)	創立記念日
	9日(木)	通常授業開始
	18日(土)~19日(日)	大学入試センター試験(休講)
	23日(木)	月曜振替授業実施
	16日(木)、17日(金) 21日(火)、22日(水) 25日(土)、27日(月)	授業評価期間
	24日(金)、 29日(水)~31日(金)	補講日
	28日(火)	秋学期定期試験期間
	1日(土)、2日(日)	一般入試(休講)
	2月	3日(月)、 5日(水)~8日(土)
10日(月)		秋学期定期試験予備日・追試験日
4日(火)、 12日(水)~28日(金)		補講期間(集中講義等あり)
3月	1日(土)~31日(月)	春季休業(集中講義・学生面談等あり)
	5日(水)	卒業・修了発表
	9日(日)	進級発表
	18日(火)	卒業式

本学の節電の取組み

本学における節電への意識的な取り組みは、平成23年度夏からとなります。当時は、電力供給量の激減から、節電を強いられた実施でした。この時、学生が作成した節電ポスターを校内に掲示し、昼休みの時間には消灯、エアコンの設定温度の調整などを行いました。

教室も廊下も明るいもの、夏は涼しく冬は暖かいものと、当たり前だったことの見直しは、これまで見過ごしてきた、誰もいない教室の照明、寒い冷房・暑い暖房を改めるきっかけになりました。

平成25年度節電対策につき、これまでと同様に教職員・学生の理解のもと節電意識の醸成と実践にあたり運用上のきめ細かな取り組みにより一層の改善効果をあげるべく努力してまいります。今後とも御協力をお願い申し上げます。

<平成25年度取り組み内容>

- ①クールピズ、ウォームピズを推奨する。
- ②夏季室内温度は、室温28℃とする。
(気温上昇時はエアコン設定温度を下げて調整)
- ③昼休み時間に、職員・学生による館内放送を毎日実施。
節電意識の醸成と実践。
- ④昼休み時間帯の消灯。

花蹊の筆墨(40)

—社頭杉—

墨画の特色は、墨の濃淡・にじみ・かすれなどによって表現する。花蹊の画も同様であるが、その構図の大胆さというか、大らかさが花蹊の特色であろう。また、花蹊の構図には、前回の夏懐旧と比較していただいても分かるように、一つの型があることも読みとれる。本紙は「社頭杉」(『跡見純弘コレクション 収蔵品目録I』)と題された、法量23.0×20.1の色紙大の作品である。画はさほど大きなものではないにもかかわらず、迫力を感じさせる。手前の濃い墨の落とし方と奥の薄い墨の使い分けによって、氷川の森へと見る者の想像を掻き立てる。更に手前に一本大きく置いた木の高さが、神社の境内の奥行きと神社の歴史をも物語るようである。氷川神社は文京区千石に所在する(茗荷谷駅から徒歩10分ほど)旧小石川村の氏神である簸川神社のことであろうか。敬神の念篤かった花蹊先生が、鎮守の森を絵に残したことは充分考えられるが、特定はできない。現在の簸川神社の社頭(写真 岩田秀行氏提供)と比較していただければと思う。

絵にせばや 杉の木の間ほのみゆる
氷川の宮の千木のかたそぎ 花蹊画も

とみえる。



現在の簸川神社鳥居
岩田秀行氏撮影

(花蹊記念資料館)

編集後記

暑い夏が終わり、涼しい季節がやってきました。

今号では、学生の活動についてたくさん紹介することができました。

跡見の「色」を感じ取っていただけましたでしょうか。まだまだ紹介できていない活動もたくさんあります。ホームページでも本学の様々な活動について紹介しております。

これからも、学生並びに教職員の活動についてたくさん紹介していきます。